



建設部建設政策課建設政策グループ
 専門主任 高橋 育子 です

(勤務履歴)

- ①平成 8 年 函館土木現業所八雲出張所勤務
- ②平成 14 年 小樽土木現業所蘭越出張所勤務
- ③平成 20 年 札幌建設管理部当別ダム建設事務所勤務
 (この間に約 3 年育児休業を取得)
- ④平成 26 年 札幌建設管理部事業室道路課勤務
- ⑤平成 29 年から 現 職

<お仕事の内容・やりがい>

採用になってから、道路事業の計画や調査設計業務、積算業務、工事監督業務などに携わってきました。事業ごとに目的や条件などが違うため、検討することも多岐にわたり大変なこともたくさんあります。でも、工事が完成して安全に通行ができるようになった道路をみていたとき、このような仕事に携わることが出来てよかったとあらためて思いました。

また、『地図に残る仕事』といわれますが、自分が担当した事業が数年後に地図に載っているのを見たときには、とても身の引きしめる思いがしたのを覚えています。

現在は、建設行政に関する取組みの企画や調整業務、北海道の土木技術職員の仕事を紹介するリクルート業務などを行っています。

<職場の雰囲気>

女性技術職員はまだ少ないのですが、男性とか女性とかに関係なく仕事に取り組む事が出来る職場です。(ちなみに、私は、工事現場での業務でもほとんど困ることはありませんでした)

現在、私は育児休業から復帰して、子育て支援制度を利用しながら勤務しています。子どもの急な病気やけがで休まなければならないこともあります。職場の方々に助けてもらいながら、育児と仕事を続けることができています。

<仕事以外のことなど>

仕事以外にも、職場のみんなで地域のお祭り、マラソン大会、野球などに参加したり、スキーへ出かけたりと楽しい時間がたくさんあります。また、休日の他にも、各種休暇制度を利用し、趣味や旅行などを楽しむことができます。

<ひとこと>

この仕事は、社会基盤整備の計画から完成までだけではなく、その後の維持管理や防災対応など、幅広い業務に携わることができるとてもやりがいのある仕事です。

これからも、仕事を通じて北海道に貢献していきたいと思っています。

●仕事の風景



職場の様子



学校での土木のお仕事紹介



担当した工事の様子



北海道が管理する
 公共土木施設での
 『インフラツーリズム』
 の取組み



●プライベートなど



旅行先で撮影



週末におでかけ